

2017/04/07(金)13:16

授業科目名	国際協力・ボランティア論		
担当者名	福島浩治		
授業コード	102101301	開講キャンパス	目白キャンパス
開講年度学期	2017年度 後期	開講期・授業区分	週間授業
単位数	2.0	年次	2
授業の概要と方法	<p>「紛争と難民」、「環境と公害」、「格差と貧困」、地震や津波にともなう災害など人類の平和と共存にかかわるグローバルな課題群は、先進国経済、新興国経済、途上国経済といった経済の発展段階をこえて、深刻さの度合いを増している。本講義では、こうした地球規模の課題群の連関性と原因を考察すると同時に、これまでの国際協力のあり方を方法論上でも実践上でも乗り越えていくことの意義を理解し、その条件を探究する。授業構成は、担当教員がグローバルな課題群の歴史・構造的な理解を促す国際協力の原理論を講義し、実践事例の具体的な紹介を外部講師がおこなう。</p>		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力やボランティアを通じた他者との出会いが、自分の暮らしや生活、価値観、社会や人間関係のあり方を再検討する鏡となり、人間として豊かにしてくれる喜びと成長の機会でもあることを知る。</li> <li>・国際協力やボランティアの最終到達点にある「国際社会の姿」について自分なりの構想力を深め、その条件と課題をめぐって具体的な問題提起ができる。</li> <li>・在日外国人や外国人留学生との積極的な交流、海外スタディツアーへの参画、海外留学への意欲が高まる。</li> <li>・多文化共生、持続可能性、公平性などがキーワードとなる現代世界の時代背景を考え、将来的に国境を越えた地球規模の課題群の解決や共生の社会づくりに貢献しようとする職業への関心が高まる。</li> </ul>		
授業計画(半期15項目、 通年30項目 回数毎の内容含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業ガイダンス</li> <li>(2) 国際協力・ボランティアの思考・行動射程を考える(1)</li> <li>(3) 国際協力・ボランティアの思考・行動射程を考える(2)</li> <li>(4) 特別講演(外部講師①)</li> <li>(5) 特別講演(外部講師②)</li> <li>(6) グローバルな課題群とさまざまな挑戦(1)</li> <li>(7) グローバルな課題群とさまざまな挑戦(2)</li> <li>(8) 「南北問題」の現段階(1)</li> <li>(9) 「南北問題」の現段階(2)</li> <li>(10) 「人間開発」から考える現代世界の構図(1)</li> <li>(11) 「人間開発」から考える現代世界の構図(2)</li> <li>(12) 特別講演会(外部講師③)</li> <li>(13) 特別講演会(外部講師④)</li> <li>(14) 国際協力とボランティアが目指すべきグローバル社会の姿と条件を考える</li> <li>(15) 後期試験</li> </ol>		
成績評価の方法	<p>出席／リアクション・ペーパー内容(20%)          授業運営への参画／貢献度(20%)          試験結果またはレポート内容(60%)</p>		
授業外で行うべき学修(準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学図書館やインターネットを利用して国内外の新聞紙やニュースを日頃からチェックする習慣を身につけてください。</li> <li>・国連専門機関(UNDPなど)、政府援助機関(JICAなど)、企業の社会的責任(CSR)、市民社会団体(NPO、NGO)などの取り組みをホームページで調べてください。</li> <li>・世界の多様な食文化を味わうフェスティバル等に参加してみてください。</li> <li>・アジア・アフリカ・ラテンアメリカなど欧米以外の優れた映画やドキュメンタリーを鑑賞してみてください。</li> </ul>		
使用テキスト	外部講師の招聘時など授業運営上、必要になった場合に指定する。		
	<p>辻村英之『おいしいコーヒーの経済論(増補版)』太田出版、2012年          D・コリンズ他(野上裕生監修)『最底辺のポートフォリオ』みすず書房、2011年          セルジュ・ラトゥーシュ(中野佳裕訳)『経済成長なき社会発展は可能か』作品社、2011年          ジャクリン・ノヴォグラッツ『ブルー・セーター』英治出版、2010年          緒方貞子／アマルティア・セン『安全保障の今日的課題』朝日新聞社、2003年</p>		

参考書(参考資料等)	<p>ジャン・ジグレル(たかおまゆみ訳)『世界の半分が飢えるのはなぜ』合同出版、2003年          大野健一『途上国のグローバリゼーション』東洋経済新報社、2000年          マブール・ハク(植村和子ほか訳)『人間開発戦略—共生への挑戦』日本評論社、1997年          デビッド・コーテン(渡辺龍也訳)『NGOとボランティアの21世紀』学陽書房、1995年          鶴見和子・川田侃編『内発的發展論』東京大学出版会、1990年          スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』朝日新聞社、1980年</p>
その他(受講生への要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力やボランティアは、一人ひとりの小さな気遣いや思いやりの集積によって大きな力を発揮します。「行動する人間」を目指して、身近なところから一歩を踏み出してみてください。</li> <li>・地球規模の課題群の背景となっている原因を知ること、国際協力やボランティアの支援内容を豊かにできる場合があります。「学習するボランティア」を目指してください。</li> <li>・外部講師の都合に応じて、授業計画に一部変更が生じる場合があります。</li> </ul>